

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 東京立正中学高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☒ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒166-0013
東京都杉並区堀之内 2-41-15

E-mail _____

Website http://www.tokyorissho.ed.jp/

児童生徒数 男子 288 名 女子 372 名 合計 660 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☒ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☒ エネルギー
- ☒ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【瞑想教育】 中高全学年 週1回1時間

概要…『日蓮上人御遺文抄』を使用した、生命の尊重・慈悲・平和についての講話。

実施日	題名（内容）	御遺文
4月27日	論語、巧言令色、鮮ないかな仁	善無畏三蔵抄
5月18日	周りの悪に染まらず、誘惑に負けない心を持つ人間としての向上心をもつ生き方を	四條金吾女房御書
5月25日	土牢中の弟子をいたわる手紙	土籠御書
6月8日	強い目標を持つ	佐渡御勘気抄
6月15日	リーダー論、マックスウィーバー「支配について」 1 カリスマ的支配、2 伝統的支配的、3 合理的支配	開目抄
6月22日	恩を知り恩に報いる 感謝の心をもつこと	開目抄
6月29日	人間はだれでも成仏できる 人間らしい人間になる	開目抄
9月7日	目になり船になり導く	開目抄
9月14日	中国に於ける法華天台の展開 ・インドの振興宗教としてのブッタと仏教 ・中国の天台大師と天台宗の展開 ・日本天台宗と伝教大師	開目抄
9月28日	目先のことにとらわれず 将来の自分を見つめた生き方を	開目抄
11月2日	強い心を持てる者は必ず人間らしい人間になる	佐渡御書
11月16日	感謝	諸法實相抄
11月30日	実演販売をささえる理論 「今自分がやっていることから答えを導く」 ⇒アメリカ人のプラグマティズム「試行錯誤」や フロンティアスピリットに通じる	諸法實相抄
1月25日	心を一つにする	異体同心事
2月1日	環境の中で努力して自己を高める	兄弟抄
2月8日	自己を批判してくれる言葉に素直に耳を傾ける 真の友とは	種種御振舞御書
2月22日	死刑は必要か不必要か 法華経…不必要⇒一切衆生悉有仏性 法相宗…必要⇒五性各別	妙一尼御前消息
2月29日	本当の自由とは 社会の規範の中で互いに生かしあう生活をする	撰時抄

【中学クロスカリキュラム】 中学全学年 週1回2時間

●農業体験

- ・栽培した作物…トマト、ミニトマト、キュウリ、ナス、オクラ、パプリカ、メロン
- ・概要…土作り。班ごとに水やり・草取り当番決め、長期休暇の間も手入れをした。観察記録をつけ、文化祭で展示した。理科や技術の授業の内容とリンクする内容については、定期試験でも知識を確認した。収穫した作物は、家庭科の調理実習等で調理し会食した。

●國學院大學・人間開発学部・初等教育学科 柴崎和夫教授による講義

- ・テーマ…『人間活動と環境－Sustainable Development の課題』
- ・講義内容…人が生きるための活動が、どうして環境破壊に結びつくか、どこに問題があるか考える。Sustainable Development のためには何が必要か、アイ

デアを出し合いながら考え、今の日本で何ができるか、自分の課題として考える視点を学ぶ。

●助産師恒川由紀氏による講義

- ・テーマ…『いのちの話』
- ・講義内容…生命の誕生についての知識を得ることで、「命の力」を理解した。また、出産前後の家族や母親の姿を撮影したビデオの鑑賞を通して、出産と周囲の人たちとのかかわりを知り、家族の絆や命の大切さ、自分の体を大切にすることを学んだ。
- ・乳児とのふれあい…6組の母子を迎え、子育ての大変さや楽しさについての話を聞いたり、乳児とふれあったりすることで、より講義で得られた知識を深めた。

●職業体験 中学1年

「働くとは？」というテーマで家族にインタビューしレポートを作成。
『キッザニア』で職業を体験し、その体験を新聞形式で作成しプレゼンテーションを実施。

●池袋防災館見学 中学2年

『池袋都民防災教育センター』を訪れ、AED研修、消火訓練、煙への対応、地震への対策について学び、防災についてレポートを作成した。

●JAL工場見学 中学3年

職業体験の一環として『JAL工場見学』に参加し、レポート作成。

【中学林間教室】 中学1・2年 湯の丸高原 青木ヶ原樹海他

●湯の丸高原、小諸、浅間山山麓

- ・池の平湿原をトレッキングし、高山植物・昆虫・動物などを観察
- ・星座の観察、植物の観察を通して自然保護の意義や重要性についての講義を受ける。
- ・島崎藤村ゆかりの地である懐古園を訪ね、千曲川畔で「小諸なる古城のほとり」を暗唱した。
- ・小諸の農家の方から指導を受けながら、収穫作業を体験し、郷土料理のおやきを調理し会食した。
- ・浅間山の麓にある鬼押し出し園・鎌原観音・孀恋資料館を見学し、浅間山の歴史や火山活動と火山災害について学んだ。学習した内容を文化祭で展示発表した。

●青木ヶ原樹海、富士五湖周辺、身延山

- ・青木ヶ原樹海を散策し、洞窟を探検することで、富士山麓の自然を学んだ。
- ・なかとみ青少年自然の里に宿泊し、「近隣の方に指導を受けながら、郷土料理のほうとうを調理し会食した。
- ・鎌倉時代、日蓮聖人によって開山され、門弟の教育機関、生涯の住居とされた身延山久遠寺を参拝した。

【中学修学旅行】 中学3年 奈良京都

法隆寺、東大寺、龍安寺、金閣寺、広隆寺、二条城、三十三間堂、清水寺の他、多くの神社仏閣を訪ね日本の文化の源を知った。

【実践生活】 高校3年 週1回2時間 本校独自設定科目

●新聞記事を活用した授業

ワーキングブア、格差社会、生活保護など日本の抱える問題を学び、世界の貧困問題についても様々な文献を使い国際問題・人権問題・環境・福祉・文化など関連する新聞記事を集め、問題点や解決策などについてレポートを作成した。

●ディスカッション・DVD鑑賞

地球環境の現状を知り、環境保全のための各国の先進的な取り組みについて学んだ。そして、自分たちにできることはないか考えた。水、エネルギー、有機農産物等のDVD鑑賞を通して、環境問題について考えた。フードマイレージ、パ

イオ燃料の影響、穀物 飼料、バーチャルウォーター、天然林の減少など、図書を活用してグループワークで学び、ディスカッションでより深めた。

●実習

- ・ 非正規雇用と正規雇用での生涯賃金の差をカードゲームで学習した。
- ・ エコクッキングの実践。
- ・ 「和食」をはじめ、さまざまな国の料理を調理し、食文化について学んだ。
- ・ 「おせち」・「祝い膳」などの行事食の調理を通して作法や年中行事を学習した。

【環境科学】 高校3年 週2回2時間

●高大連携授業

- ・ 講師…東京都市大学工学部電気電子工学科の太田豊准教授
- ・ テーマ…「自然エネルギーで電気自動車は走れるのか」
- ・ 概要…電気自動車は車体から二酸化炭素を排出しないという点で環境に優しいと言えるが従来の火力発電所などからの電気を利用するのでは、結局は環境に負荷を与えることになってしまう。エネルギー源として太陽光などの自然エネルギーを用いれば、全く化石燃料を使わず、二酸化炭素を排出せずに電気自動車を動かすことができるようになるが、自然エネルギーには気候などの要因により発電電力が安定しないという弱点がある。近年、日本の技術により高性能なリチウムイオン電池が登場している。リチウムイオン電池に電力を蓄えれば自然エネルギーの弱点を補うことができるようになる。また電気自動車も世界的に普及期に入っていることから、自然エネルギーで電気自動車に充電ができる仕組みが開発されつつある。化石燃料から自然エネルギーへの転換を図らなければならないということは普段の授業でも力説しているが、今回、それを実現させるための最先端の研究内容に触れることができた。エネルギー問題に対する関心を高めることができた。

【高校修学旅行】 高校2学年

●沖縄修学旅行事前学習

- ・ 映画鑑賞…「月桃の花」「ひめゆりの塔」を鑑賞し、レポート作成。
- ・ 沖縄の自然・歴史・文化・経済について調べ、レポートを作成。
 - 1) 沖縄の農業
 - 2) 沖縄の漁業
 - 3) 沖縄の工業（工業製品、サービス業など）
 - 4) 沖縄の年中行事と祭り
 - 5) 琉球料理（宮廷料理・シンジー料理、菓子など）について
 - 6) 長寿の県沖縄について
 - 7) 国際通りについて
 - 8) 沖縄の旧石器時代から琉球王国までの歴史
 - 9) 沖縄のグスク時代と首里城について
 - 10) 太平洋戦争と沖縄
 - 11) 大戦後の沖縄（米軍基地、安保条約、本土復帰など）
 - 12) 沖縄戦（ガマ、糸数壕、海軍指令壕など）
 - 13) ひめゆり部隊について
 - 14) 対馬丸について
 - 15) 平和の礎、摩文仁の丘、平和祈念公園について
 - 16) 沖縄の世界遺産について
 - 17) 沖縄の歴史的人物（尚巴志、尚真、山之口猷など）
 - 18) 沖縄の気候
 - 19) 沖縄の地形
 - 20) 沖縄の動物（陸地・海洋）
 - 21) 沖縄の植物

- 22) 沖縄の鳥類
- 23) 沖縄の島々（特に伊江島について）
- 24) 美ら海水族館について
- 25) 嘉手納基地について
- 26) 沖縄の伝統芸能（三線、エイサー、カチャーシーなど）
- 27) 沖縄の音楽（琉球音楽、島唄など）
- 28) 沖縄の言葉とことわざ
- 29) 沖縄の昔話と伝承
- 30) 沖縄の工芸品（紅型、琉球ガラス、漆器、やちむん）
- 31) 琉球舞踊
- 32) 沖縄の空手、闘牛
- 33) 沖縄の信仰（墓・魔除け）
- 34) 沖縄の文学
- 35) 那覇について

●見学・第二次世界大戦の時に日本国内で唯一地上戦が行われ、現在も基地が集中している「沖縄」を見学し、平和の意味を考えた。

・「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産リストに登録されている今帰仁城跡を見学し、琉球王国の歴史について学んだ。

見学地例）ひめゆりの塔、平和記念公園（平和の礎・摩文仁の丘）、ガマ、道の駅かでな、伊江島、今帰仁城

●講話…ひめゆり学徒隊として戦争を体験した方の講話のVTRを見て、学芸員の解説を聴いた。平和の尊さについて学び、レポート作成した。

【森林体験講座】 高校全（希望者） 奥多摩 鳩ノ巣フィールド

●講義内容…『間伐の必要性と方法』『森林の役目とは』

●作業内容…間伐及び伐った木の皮むき。7月ころに、下刈りといって、大きな木まで育てる木以外の草木を刈って森のなかの風通しを良くする。今回は、大きくなった木の中で、まっすぐに伸びて形の良い木を、森林資源として活用できるようにするため、それ以外の木を伐採した。

【ホームステイ】 中高全学年（希望者）

●事前学習…日常英会話を学習し、オーストラリアの生活習慣を学んだ。

●ホームステイ…オーストラリアフレンドシップ校である、ナウラアングカンカレッジに通う生徒の家庭へホームステイを実施。

●世界で活躍する人との交流…シンガポールで1泊し、現地の日本企業で働く若者に、日本とシンガポールの生活の違いや海外で働く意義などを聞いた。

【歌舞伎教室】 高校2年

●題名…『義経千本桜』

●概要…「歌舞伎のみかた」と題して歌舞伎俳優からみどころなどの解説を受け、観劇の手引きになる豆知識を小冊子にまとめた歌舞伎読本や字幕表示も見ながら観劇した。四百歴史を持つ歌舞伎についての知識を深めた、レポート作成した。

【ボランティア係】 中高希望者

●募金活動…文化祭で募金活動を実施。文化祭でバザーや模擬店、発表や展示を実施し、その売り上げの一部を募金とともにユニセフへ送った。

●養護老人施設との連携…『浴風会』の協力を得て、高齢者を学校に招き交流会を実施。介助の経験を通して、ボランティア精神を育成した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）